

公益財団法人仁科記念財団

令和 6 年度（2024 年度）事業報告書

仁科記念財団は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念し、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において次の公益目的事業を行う。(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成。

1. 令和 6 年度（2024 年度）に行った公益目的事業

(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与

■第 70 回仁科記念賞

仁科記念賞は、基礎物理学およびその応用に関して傑出した業績をあげた日本の比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和 30 年（1955 年）以来、毎年数名の研究者に授与されてきた。

これまでの受賞者の総数は 203 名（本年度の 3 名を含む）となり、その中からは、その後国内外での著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者 6 名（江崎玲於奈氏、小林誠氏、益川敏英氏、小柴昌俊氏、中村修二氏、梶田隆章氏）、文化勲章受章者 14 名、恩賜賞受賞者 11 名、日本学士院賞受賞者 36 名（2021 年度・第 67 回仁科記念賞受賞者 宮崎聡氏が令和 6 年 7 月 8 日に日本学士院賞を受賞）となっている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ(HP)、日本物理学会誌、応用物理学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 60 万円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日、あるいはそれに近い日にこれまでの受賞者を含めた研究交流の懇談会の場で行うとしている。授賞式には、受賞者が希望する者（受賞 1 件あたり 3 名程度まで）も招待する。

本年度第 70 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他 14 名）は、今年度推薦のあった 22 件の候補についてオンライン会議で慎重に審議したのち、次の 3 件（3 名）に授与することに決定した。

1) 業績題目：「4 中性子状態の実験的研究」

受賞者：下浦 享

東京大学・名誉教授

2) 業績題目：「アクチノイド化合物における超伝導の先駆的研究」

受賞者：青木 大

東北大学金属材料研究所 教授

3) 業績題目：「スピンホール効果とトポロジカル物質の理論」

受賞者：村上 修一

東京科学大学理学院物理学系 教授

この結果は令和 6 年 10 月 25 日に開催された第 47 回理事会（オンライン会議）で承認され、11 月 7 日に日本アイソトープ協会第 3 会議室にて新聞発表を行った。受賞記事は、当財団 HP に加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin (2025 年 2 月号) にも掲載された。

本年度の授賞式は、12 月 5 日に学士会館にて、受賞者 3 名と同伴者、理事長、常務理事、選考委員長、評議員会会長ほか財団関係者に加え、仁科記念講演会講師、これまでの受賞者と同伴者、寄附者、報道関係者が参加して執り行われた。最初に、梶田隆章理事長から本年度の財団の活動報告があったあと、安藤恒也選考委員長からの選考過程の説明があり、続いて理事長から受賞者へ賞状と賞牌が贈呈された

(2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催

■第 70 回定例仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に基礎物理学とその応用の真髓を会得していただくため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 70 回定例仁科記念講演会「仁科芳雄と素粒子物理学の百年」が開催された。

日 時：令和 6 年 12 月 5 日（木）15:00～17:30

場 所：学士会館 202 号室

（YouTube にてライブ配信）

主 催：公益財団法人仁科記念財団

後 援：公益社団法人日本アイソトープ協会
(プログラム)

挨 拶：梶田隆章 仁科記念財団 理事長

司 会：早野龍五 仁科記念財団 常務理事

講 演：「仁科芳雄と日本における量子物理学研究」

伊藤憲二 京都大学文学系研究科 准教授

講 演：「素粒子の常識と非常識」

日笠健一 東北大学 総長特命教授

参加者：約 50 名(会場)、約 50 名(オンライン：2025 年 3 月 31 日の時点で、約 1050 名が視聴)

当財団 HP にてポスター、スライド集を公開している。

(3) 仁科記念室史料の保管・整理・公開

仁科記念室の歴史的に貴重な資料・図書などの保管・整理・公開を行った。関連諸機関とも協力して史料の整理を進めるとともに、写真・書簡・論文等史料を電子化して当財団ホームページの「仁科芳雄デジタル記念館」で逐次公開した。

「我が国の科学技術の発展に多大な足跡を残した仁科芳雄博士の史料(仁科史料)に関する調査ならびに公開・活用を通じて、科学技術の国民生活への貢献等の理解増進、科学技術に関心・興味を持つ人材の育成等に寄与する」ことを銘打って、当財団と国立研究開発法人理化学研究所の間で「仁科芳雄博士の史料に関する協定書」を締結することとなった。2025 年 4 月 1 日付で、両理事長が調印する。

・日経サイエンス 2024 年 8 月号に「宇宙線研究の黎明期を支えた仁科型電離箱」が掲載された。記事には、仁科史料の写真が掲載され、「理化学研究所・仁科記念財団」とクレジットが入っている。

(4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

2024 年度も、仁科記念講演会の講演記録に加え、当財団がこれまで刊行してきた出版物を電子化して HP の「仁科芳雄デジタル記念館」と「出版および史料研究調査」に順次公開した。

刊行物としては、例年通り、2024 年版仁科記念財団案内(2024 年 6 月)を刊行した。これまでの「財団案内」は、すべて HP で閲覧、ダウンロードできる。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

コロナ禍のため延期されてきた 第 8 回（2020年）Nishina Asia Award 受賞者 Ying Jiang 教授（北京大学）と第 9 回（2021年）受賞者 Wang Yao 教授（Chair Professor, Department of Physics, the University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China）の招聘を、NAA規程に則り実施した。このNAAは、第 10 回（2022年）を以って終了したが、両氏の招聘により、NAA事業が完了した。

・Ying Jiang 教授は、10月14日来日、10月16日まで 東京大学 物性研究所 に滞在。10月15日に物性研談話会で、NAA受賞講演を行った。演題は、"Unravelling the molecular origin of water/ice anomaly with scanning probe microscopy"。10月16日には、梶田隆章理事長、廣井善二物性研所長、本講演開催の労を取られた長谷川幸雄教授、森初果教授（仁科記念財団運営諮問委員）等と意見交換を行った。10月18日に、金沢大学ナノ生命科学研究所の福間剛士教授のホストで講演を行い、その後、北九州での国際会議に出席、10月25日に離日した。

・Wang Yao 教授は、11月24日に来日。11月25日、理化学研究所でNAA受賞講演。演題は、"Quantum geometric properties and anomalous Hall effects in twisted TMDs"。11月26日には、東京大学宇宙線研究所にて梶田隆章理事長と懇談。引き続いて、東京大学 物性研究所、京都大学、大阪大学で、講演を行い、11月30日に離日した。

2. 賛助会員および特別寄附

- ・本年度の賛助会員数は 8 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、一般社団法人微細加工工業会、日本電子株式会社、三菱重工機械システム株式会社、DMG 森精機株式会社）。
- ・公益社団法人日本アイソトープ協会から昨年度に続き寄附金を頂戴した。
- ・公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き寄附金を頂戴した。
- ・個人（匿名希望。理化学研究所および浜松ホトニクス株式会社元在籍者）から、100 万円の寄附を頂戴した。
- ・令和 6 年 5 月 1 日付で、内閣総理大臣より「税額控除に係る証明書」を受領した。今後は、当財団への寄附者および賛助会員は、この証明書の写しと当財団が発行する寄附領収書を確定申告書に添付し、所要事項を記入することにより、税額控除を受けることができる。但し、有効期限は、令和 11 年 4 月 30 日まで。HP に記事を掲載。
- ・令和 6 年 12 月 16 日付で、内閣府賞勲局より「紺綬褒章授与の対象となる公益団体」に認定された。これにより、当公益法人に対して 500 万円以上の寄附を行った個人及び 1,000 万円以上の寄附を行った団体に、紺綬褒章が授与される。HP に記事を掲載。

3. 物故

- ・元理事長、山崎敏光氏が、2025 年 1 月 31 日に逝去された。享年 90 歳。
- ・助言委員、小林俊一氏が、2025 年 2 月 16 日に逝去された。享年 86 歳。

4. 会議

本年度開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。評議員会と理事会の議事録は、HP に公示している。

(1) 評議員会

1) 第 14 回（定時）

日時：令和 6 年 6 月 10 日 13：00～14：00

場所：東京都文京区本駒込 2-28-8 科研製薬株式会社地下 1 階「仁科倶楽部」会議室
および Zoom によるオンライン併用（下線はオンライン出席）

出席評議員：秋光純、京藤倫久、九後太一、小谷元子、齋藤軍治、佐藤勝彦、高橋真理子、中村道治、永宮正治、山田作衛（会長）

欠席評議員：有本建男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席理事：梶田隆章理事長、矢野安重常務理事

出席事務局長：松林孝昭

議事：① 令和 5 年度事業報告書および決算書が承認された。

② 矢野安重常務理事の常勤を解く件が承認された。

(2) 理事会

1) 第 46 回

日時：令和 6 年 5 月 20 日 17：30～18：00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、
初田哲男、早野龍五、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席事務局長：松林孝昭

議事：① 梶田隆章理事長より、令和 5 年度事業報告書案および決算書案の説明があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案を第 14 回定時評議員会に諮ることが承認された。

② 理事長より「矢野安重常務理事から、仁科記念室の運営を含む仁科記念財団の運営業務が定型化し、常勤常務理事としての業務が激減したので、常勤を解いて無報酬の常務理事としていただきたいとの申し出があった」ことが報告され了承された。本件は、第 14 回定時評議員会での承認が要る。

③ 理事長より、第 14 回定時評議員会を令和 6 年 6 月 10 日 13:00 より科研製薬株式会社「仁科倶楽部」の会議室にて「ハイブリッド」で開催したい旨提案があり了承された。なお、議案は、1) 令和 5 年度事業計画書及び決算書の承認、2) 矢野安重常勤常務理事の常勤を解く件。

2) 第 47 回

日時：令和 6 年 10 月 25 日 18:30～19:30

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、
初田哲男、早野龍五、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席選考委員長：安藤恒也

出席事務局長：松林孝昭

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、梶田隆章理事長、早野龍五常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：① 安藤恒也仁科記念賞選考委委員長より「2024 年度は 22 件の推薦があり、慎重に審議した結果、1) 下浦享 理化学研究所開拓研究本部 研究員『4 中性子状態の実験的研究』 2) 青木大 東北大学金属材料研究所 教授『アクチナイド化合物における超伝導の先駆的研究』 3) 村上修一 東京工業大学理学院 教授『スピンホール効果とトポロジカル物質の理論』の 3 件 3 氏を受賞者として」旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程 第 6 条第 2 項に従い、選考委員会提案通り令和 6 年度仁科記念賞受賞者を決定した

② 早野龍五常務理事より仁科史料に関する理化学研究所との協定書の提案があり、全出席理事異議なく承認された。また、覚書の締結については、早野常務理事に一任することが了承された。

3) 第 48 回

日時：令和 7 年 3 月 18 日 17:30～18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、
初田哲男、早野龍五、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

出席選考委員長：安藤恒也委員長

出席事務局長：松林孝昭

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、梶田隆章理事長、早野龍五常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、本年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：① 令和 7 年度（2025 年度）事業計画書案及び収支予算書案を承認し、特定資産を 330 万円取り崩すことを了承した。

② 梶田理事長より「2025 年度には資金調達及び設備投資の予定はない」旨報告があった。

③ 梶田理事長より「定款第48条第2項により、松林孝昭氏を、経理を主たる業務とする事務局長（原則週 2 日勤務）として重任したい」旨提案があり了承された。

④ 仁科芳雄博士の史料の今後の運用に関する国立研究開発法人理化学研究所との協定書案を承認した。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 6 年 9 月 27 日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：梶田隆章理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 6 年 10 月 11 日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：梶田隆章理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題：① 令和6年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：令和6年4月23日（火）17:30~19:00

出席委員：永長直人委員長、中畑雅行、藤澤彰英、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、家泰弘、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 令和6年度（2023年度）事業報告書および決算書案について：了承。ただし、事業報告書の仁科記念賞の節で、「授賞式には、受賞者が希望する者（受賞1件あたり3名程度まで）も招待する」旨加筆することとなった。

② 仁科記念賞候補推薦依頼文について：審議の結果「基礎物理学及びその応用に関し、優れた研究業績をあげた比較的若い研究者を表彰」とすることとした。

③ HPの「仁科芳雄デジタル記念館」を「デジタル仁科記念室」と名称変更することについて：了承。

④ 本年度の第70回仁科記念賞授賞式をく12月6日（金）18:00~20:00に学士会館で開催することとした。

⑤ 本年度の第70回仁科記念講演会のテーマについて：早野常務理事から、伊藤憲二氏による「仁科芳雄伝」の講演の例が挙げられた。今後、講演会テーマ、講演者と講演題目について募集したいので、早野常務理事までメールで提案して欲しい旨、呼びかけがあった。

⑥ 「仁科記念室史料に関する財団と理研の協定」について：理研との協定書（案）について「仁科記念室史料への関りは、当財団と理研は対等であり、今後とも双方、相手の意図を尊重して協力する、というものにすべし」という趣旨の意見があった。具体的な協力は「覚書」に記述する。

2) 第2回

日時：令和6年5月20日 18:00～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、中畑雅行、藤澤彰英、村尾美緒、森初果

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、家
泰弘、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 本年度の第70回仁科記念講演会のテーマについて：早野常務理事より、伊藤憲二氏と日笠健一氏を講師としたい旨、提案があり、賛同が得られた。会場は「学士会館」を考えている。日にちは、伊藤氏の都合で12月5日がよいとのこと

② 仁科記念賞授賞式式次第と 本年度の第70回仁科記念賞授賞式をく12月6日（金）18:00～20:00に学士会館で開催することについて：受賞者の挨拶に関しては「無し」とする案が出され安藤恒也選考委員長のサポートも得られた。授賞式の司会者に関しては梶田隆章理事長からもう少し簡素化した案がよいのではないかの指摘があり、議論の後各常務理事が協力して行うのが適切ということになった。式次第には単に「常務理事」と記すのが適切と考えられる。授賞式の日にちに関しては前回の運営委員会で藤川常務理事の提案という形で仁科先生ゆかりの12月6日とする案が認められていたが、早野龍五常務理事の要望により12月5日に講演会と授賞式の双方を行うことになった。相互の連携に関しては今後さらに詰める。

③ 「仁科記念室史料に関する財団と理研の協定」について：継続審議とすることとした。

④ 永長直人委員長より NAA 受賞者講演会の準備状況について報告があった。

3) 第3回

日時：令和6年7月23日 17:00～18:00

場所：（公社）日本アイソトープ協会第3会議室

形式：ハイブリッド（下線は、Zoom によるオンライン出席者）

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、藤澤彰英、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、家泰弘、佐々木節、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 微細加工工業会（1口）、日本電子（1口）、三菱重工機械システム（2口）、森記念製造技術研究財団（1口）を賛助会員として承認した。

② 仁科史料に関する理研との協定書・覚書については、早野龍五常務理事を代表として理化学研究所との交渉にあたることが再確認された。

4) 第4回

日時：令和6年9月5日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、中畑雅行、藤澤彰英、松尾由賀利、森初果

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、矢野安重常務理事、安藤恒也、家泰弘、上蓑義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：秋光純、永宮正治、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 第47回理事会について：1) 第47回理事会を10月25日【18:00～】に開催する 2) 議題は、① 2024年度（第70回）仁科記念賞受賞者決定

② 仁科史料について：仁科史料に関する理研との協定書・覚書については、早野常務理事を代表として理化学研究所との交渉にあたることが再確認された。また、早野常務理事を中心に仁科史料およびガバナンスに関する基本方針について10月の理事会で議論することとした。

③ 第70回定例仁科記念講演会について（ポスター最終案）：ポスターの最終案を決定した。

5) 第5回

日時：令和6年10月25日 18:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、中畑雅行、藤澤彰英

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、

家泰弘、上蓑義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 第 47 回理事会について：1) 第 47 回理事会を 10 月 25 日【18:00～】に開催する 2) 議題は、① 2024 年度（第 70 回）仁科記念賞受賞者決定
② 第 70 回定例仁科記念講演会について（ポスター最終案）：ポスターの最終案を決定した。

6) 第 6 回

日時：令和 6 年 12 月 19 日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、藤澤彰

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
家泰弘、須藤靖、十倉好紀、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：西村純

事務局：松林孝昭

議題：①「仁科史料」に関する理研との協定書・覚書について：早野常務理事より「協定書案が理研広報室から理研理事会の担当部署に上がり検討中とのこと、概ね当財団案となる見込み」との報告があった。

② 2025 年度仁科記念賞授賞式の会場について：矢野常務理事より「私学会館を 12 月 5 日 18:00～20:00 に授賞式会場として仮予約したい」旨、提案があり承認された。また、早野常務理事より、東京大学理学部小柴ホールを仁科記念講演会場として仮予約したい」旨提案があり承認された。

③ 個人賛助会員（1 万円／1 口）のお願いについて：矢野常務理事より「個人賛助会員入会をより広くお願いしたい」旨提案があり、お願いの文面を含め今後の検討が必要とした。

7) 第 7 回

日時：令和 7 年 2 月 14 日 17:30～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、藤澤彰英、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、

家泰弘、上蓑義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 令和 7 年度（2025 年度）事業計画（案）について：改訂した案を 3 月 18 日開催の第 48 回理事会に諮ることとした。事業計画には記述されていないが、念のため、12 月 5 日に、授賞式会場として私学会館を、また、講演会場として東京大学理学部小柴ホールを予約済み。

② 2025 年度収支予算書（案）について：松林事務局長より、令和 7 年度（2025 年度）の収支予算書案、収支予算書（内訳書）案、収支計算書（損益計算書）1 月末案 の説明があり、このうち、収支計算書（損益計算書）の 2 月末版をもって、第 48 回理事会に諮ることとした。特定資産の取り崩し額は、330 万円となる。（昨年度は、640 万円）

9) 第 8 回

日時：令和 7 年 3 月 18 日 18:00～19:30

出席委員：永長直人委員長、櫻井博儀、中畑雅行、藤澤彰英、森初美、村尾美緒

出席理事：梶田隆章理事長、早野龍五、藤川和男、矢野安重、安藤恒也、家泰弘、
上蓑義朋、佐々木節、須藤靖、十倉好紀、初田哲男

出席監事：荒船次郎、伊藤公孝

オブザーバー：永宮正治、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：① 2025 年度仁科記念講演会の企画（「大テーマ」、開催方式、等）について：意見交換を行い、いくつかの可能な大テーマについての提案があった。また、理研で仁科センターを中心に量子 100 周年記念シンポジウムが企画されていることが報告され、その内容が見え始めているであろう 次回の第 1 回運営会議・運営諮問委員会でさらに検討することとした。

② 賛助会員および寄附募集の基本方針について：賛助会員と寄付を増やすべくさらに努力することを確認した。個人的なつながりを使った依頼が有効であるという意見が出された。

③ 仁科史料に関する理化学研究所との覚書（案）について：協定書締結後、覚書の成案を練ることとした。

本事業報告書には、以上のほか記述すべきことはありません。